Cisco Unified Communications Managerの権限昇格の脆弱性

Medium	**アドバイザリーID :** Cisco-SA-20130717-CVE-2013-3403 **初公開日 :** 2013-07-17 16:17 **バージョン 1.0 :** Final **CVSSスコア :** 6.8 **回避策 :** No Workarounds available **Cisco バグ ID :** CSCuh73454 CSCuh87042	CVE-2013-3403

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Unified Communications Manager(Unified CM)の脆弱性により、認証されたローカルの攻撃者がシステムの権限を昇格できる可能性があります。

この脆弱性は、特権システムスクリプトの不適切なファイル権限、環境変数、および相対パスに起因します。攻撃者は、システムスクリプトを変更することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。これにより、攻撃者は該当システムを完全に制御できる可能性があります。

この脆弱性の不正利用のデモを実施するための概念実証コードが公開されています。

シスコはセキュリティアドバイザリで脆弱性を確認し、一時的な修正をリリースしました。

この脆弱性を不正利用するには、攻撃者はターゲットシステムへの認証されたアクセスを必要とします。認証されたアクセスでは、攻撃者は信頼できる内部ネットワークにアクセスする必要があります。これらのアクセス要件により、不正利用が成功する可能性が制限される可能性があります。

Cisco Unified CMバージョン8.0は、2012年10月23日にソフトウェアメンテナンスが終了しました。Cisco Unified CM 8.0(x)バージョンをご使用のお客様は、サポートされているCisco Unified CMバージョンへのアップグレードに関してシスコサポートチームにお問い合わせください。

Cisco UCMは、脆弱性が確認された唯一の製品です。 その他の音声製品は、このアドバイザリに記載されている1つ以上の個別の脆弱性の影響を受ける可能性があります。次の製品は調査中で

すが、脆弱性が存在することは確認されていません。

- Cisco Emergency Responder
- Cisco Unified Contact Center Express
- Cisco Unified Customer Voice Portal
- Cisco Unified Presence Server/Cisco IM and Presence Service
- Cisco Unity Connection

該当製品

シスコは、Bug ID CSCuh73454および CSCuh87042のセキュリティアドバイザリを次のリンクでリリースしました。 cisco-sa-20130717-cucm

脆弱性のある製品

Cisco Unified CMバージョン9.1(1a)以前には脆弱性が存在します。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

回避策

適切なアップデートを適用することを推奨します。

今後のアップデートやリリースについては、ベンダーに連絡することを推奨します。

Cisco Applied Intelligenceチームは、更新されたソフトウェアを適用する前に、この脆弱性を悪用しようとする試みを識別して緩和する方法について管理者をガイドする次の関連ドキュメントを作成しました。 Identifying and Mitigating Exploitation of the Multiple Vulnerabilities in Cisco Unified Communications Manager

信頼できるユーザだけにネットワークアクセスを許可することを推奨します。

IPベースのアクセスコントロールリスト(ACL)を使用して、信頼できるシステムだけに該当システムへのアクセスを許可することを検討することもできます。

影響を受けるシステムを監視することを推奨します。

修正済みソフトウェア

有効な契約を結んでいるシスコのお客様は、 Software Centerからアップデートを入手できます。契約を結んでいないシスコのお客様は、Cisco Technical Assistance Center(TAC)に1-800-553-2447または1-408-526-7209で連絡するか、 *tac@cisco.com*で電子メールを介してアップグレードを入手できます。

Cisco Options Package(COP)ファイル **cmterm-CSCuh01051-2.cop.sgn**が、該当ソフトウェアの[Utilities]セクションにあるソフトウェアダウンロードページにリリースされました。9.1(x)バージョン用のCOPファイルは、ソフトウェアダウンロードページで次のパスに移動すると見つかります。

[製品(Products)] > [音声およびユニファイドコミュニケーション(Voice and Unified Communications)] > [IPテレフォニー(IP Telephony)] > [ユニファイドコミュニケーションプラットフォーム(Unified Communications Platform)] > [Cisco Unified Communications Manager] > [Cisco Unified Communications Managerバージョン9.1(Cisco Unified Communications Manager Version 9.1)] > [Unified Communications Manager/CallManager/Cisco Unity Connection Utilities-COP-Files]

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team（PSIRT）は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

URL

https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/Cisco-SA-20130717-CVE-2013-3403

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初版リリース	適用外	Final	2013年7月17日

利用規約

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。